

支所発地域力向上支援金事業実施報告書（自己評価）

令和7年8月14日

事業実施地区	安茂里地区
事業名	防災用具・用品及び地域交流イベント用具の整備
団体名及び 代表者名	(団体名) 大門区 (代表者名) 区長 檀原 保夫 (連絡先) 090-5444-2962

■事業概要（選考委員会の助言を含む）

本事業は、災害時に迅速な共助体制を構築するとともに、平時の防災訓練等にも活用することで、地域全体の防災対応力を高め、住民の安心感を確保することを目的としています。そのため、防災用テント（屋外組み立てテント）および屋外用会議テーブルを整備しました。これらの備品は、災害時の拠点設営や避難者支援活動に加え、地域の交流イベント等にも積極的に活用し、日頃から「顔の見える関係づくり」を促進することで、災害時における相互支援体制の強化を図ります。整備した備品は、令和7年8月10日に開催した「区民ふれあい広場・子供夏祭り」において初めて活用し、住民同士の交流や地域の一体感醸成にも寄与しました。	【事業完了日】 令和7年8月10日 【総事業費】 金. 190,230 円 【補助金額】 金. 168,000 円
---	--

※活動状況や備品の表示がわかる写真・成果物等を別途添付

■事業効果（目的の達成度・地域への貢献度等について）

本事業により整備した防災用テントおよび屋外用会議テーブルは、災害時の拠点設営や避難所運営に迅速かつ柔軟に対応できる環境を整備し、地域全体の防災対応力向上に寄与します。特に、屋外での物資配布や避難者受付などを円滑に行える体制が整い、非常時の住民の安心感向上につながります。 また、平時においては、地域の交流イベントや防災訓練等で積極的に活用できるため、住民同士のつながりや協力関係が深まります。令和7年8月10日に開催した「区民ふれあい広場・子供夏祭り」では、これらの備品を活用して円滑な運営が行われ、多くの住民（子供を含め約300名）が交流し、一体感や信頼関係が醸成されました。これにより、平時から「顔の見える関係」が構築され、災害時における相互支援体制の強化につながる効果が確認されました。
--

※参加人数等、数値化して効果を表せるものがあれば数値化したものも加えて記載をお願いします。

■事業評価（該当欄に○）

	予定を上回る	予定どおり	概ね予定どおり	予定を下回る
事業の内容		○		
事業の効果	○			
特記事項 (評価理由等)	本事業は、防災資機材の整備を通じて平時と有事の双方で地域力を高める効果が明確に確認でき、継続的活用による波及効果も期待できる。			

■今後の取組予定

- 1 開催予定日（天候により変更する場合があります）
 1. 防災訓練：令和7年10月19日（日）
 2. 第47回区民運動会：令和7年10月12日（日）
- 2 開催場所
 1. 大門公園 広場
- 3 対象者
 1. 全区民を対象に防災訓練の実施
 2. 区民運動会の開催（全世代の区民を対象）